

CD/USB/チューナー・WMA/MP3/AAC/WAV 対応・DSP メインユニット
DEH-P01 **取付説明書**

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ
 接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

パイオニア株式会社 © パイオニア株式会社 2009
 〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1 <KSNZF> <09D00000> <CRA4281-A>

はじめに **1** **接続・取り付け部品を確認する**

本体関係



本体 × 1



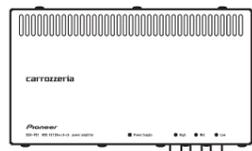
フロントパネル固定ネジ × 1



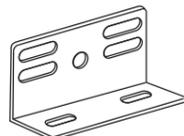
座付きネジ (4 mm × 8 mm) × 4



トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 4



アンプユニット × 1



取付アングル × 2



皿ネジ (5 mm × 9 mm) × 4



タッピングネジ (4 mm × 12 mm) × 4

はじめに **2** **接続・取り付け部品を確認する**

コード関係



本体用電源コード × 1



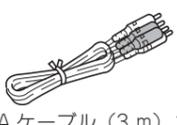
RCA 接続コード × 1



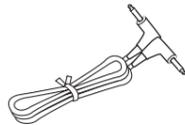
USB ケーブル (1.5m) × 1



アンプユニット用電源コード × 1



RCA ケーブル (3 m) × 3



AUX ケーブル (1m) × 1



音響特性測定用マイク × 1

リモコン関係



リモコン × 1



リモコンホルダー × 1



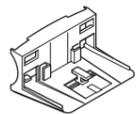
ベルト × 2



リチウム電池 (CR2032) × 1



両面テープ × 1



ステアリングホルダー × 1

接続 **1** **接続の前に知ってほしいこと**

接続上のご注意

- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 接続 / 取付の作業前は、必ずバッテリーの(+)端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。
- 赤リード線(アクセサリ電源)は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機に付属のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの(+)リード線を、共通にして接続しないでください。
- 黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- オートタイムアライメント & イコライジング (Auto TA & EQ) 機能は、車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の測定音を出力します。高域再生用のスピーカー(トゥイーターやスーパートゥイーター)をハイレンジ出力端子(HIGH RANGE OUTPUT)以外のスピーカー端子に接続すると、低い周波数を含んだ測定音によりスピーカーを破損することがあります。高域再生用のスピーカーは、必ずHIGH信号用スピーカー出力端子に接続してください。
- トゥイーターとスーパートゥイーターを接続した場合のご注意
 - ・必ずスーパートゥイーターに付属のクロスオーバーネットワークをご使用ください。
 - ・オートタイムアライメント & イコライジング (Auto TA & EQ) が正しく設定されないことがあります。このようなときは、必要に応じて手動で調整してください。

- Auto TA & EQ 機能で正確に音場を測定するために、ミッドレンジ出力には、必ずスピーカーを接続してください。
- 付属のアンプと組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。
- アンプを接続しない RCA 接続コードには、何も接続しないでください。
- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線(アンテナコントロール)に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。(ラジオが ON にならないと、プースターが ON にならない車もあります。) 詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

IP-BUS の接続について

- IP-BUS 端子と IP-BUS ケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。)

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、USB ケーブル、IP-BUS ケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

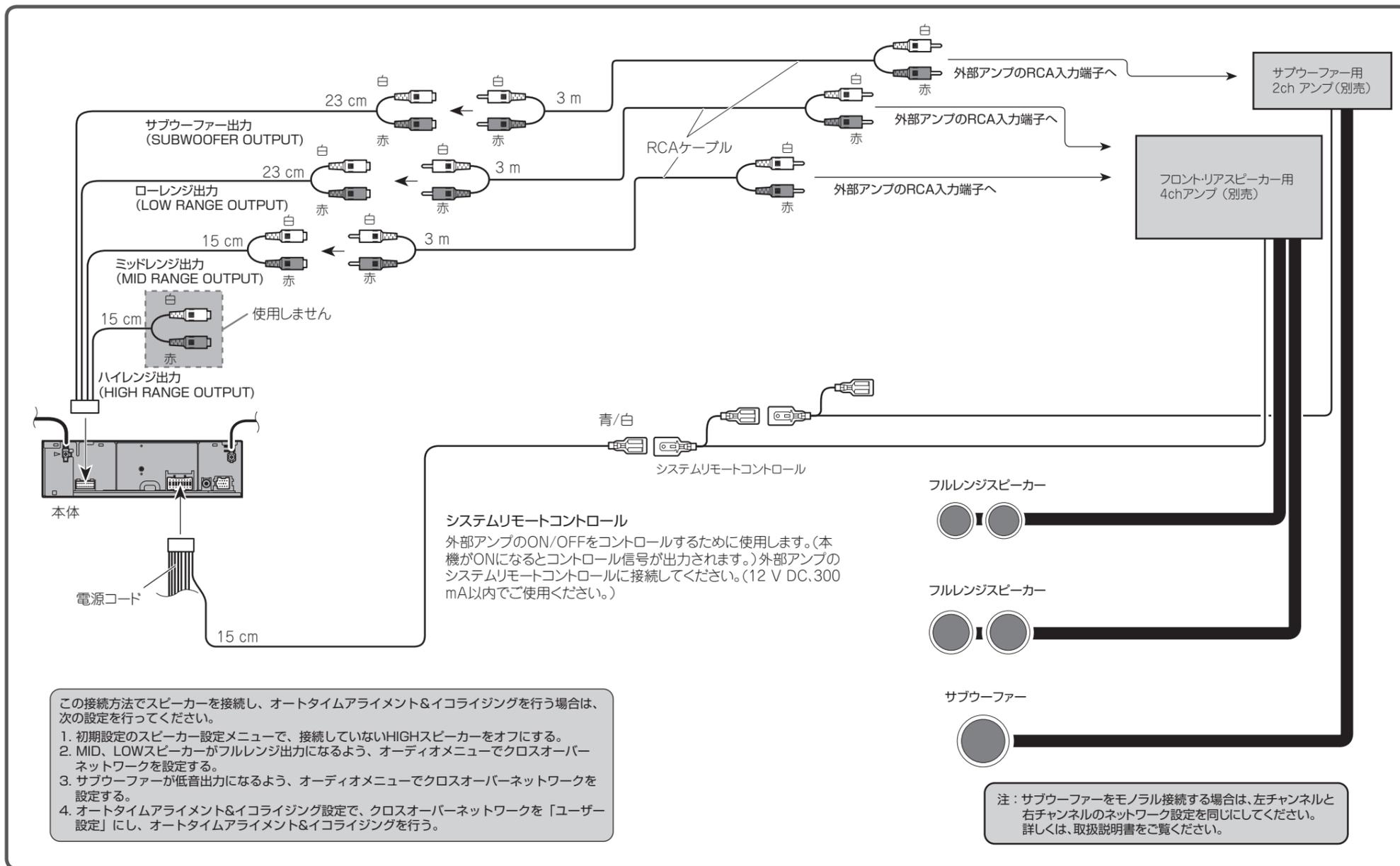
コネクタの着脱のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



フルレンジスピーカー接続 (別売のアンプを使用)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

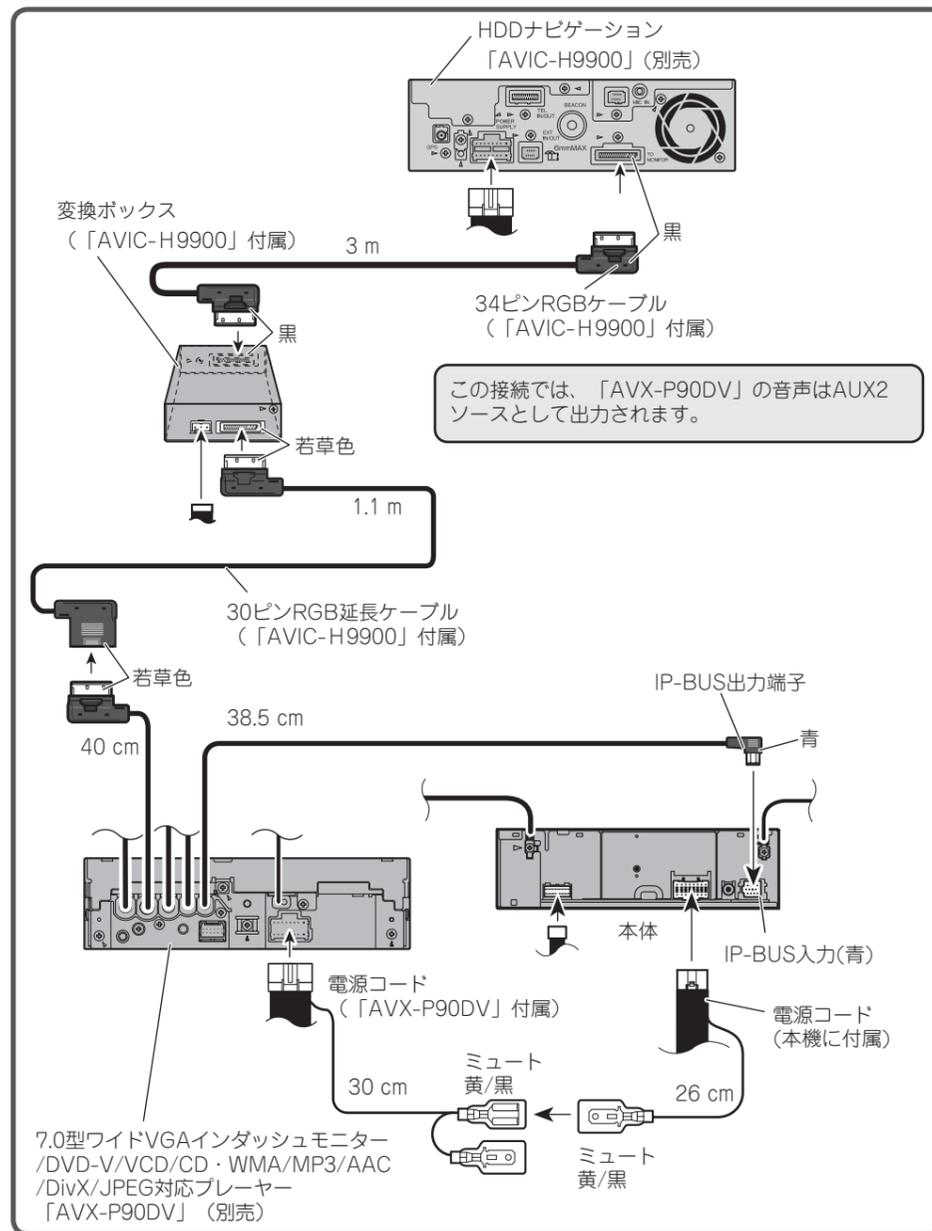


この接続方法でスピーカーを接続し、オートタイムアライメント&イコライジングを行う場合は、次の設定を行ってください。

1. 初期設定のスピーカー設定メニューで、接続していないHIGHスピーカーをオフにする。
2. MID、LOWスピーカーがフルレンジ出力になるよう、オーディオメニューでクロスオーバーネットワークを設定する。
3. サブウーファーが低音出力になるよう、オーディオメニューでクロスオーバーネットワークを設定する。
4. オートタイムアライメント&イコライジング設定で、クロスオーバーネットワークを「ユーザー設定」にし、オートタイムアライメント&イコライジングを行う。

AVIC-H9900、AVX-P90DV との組み合わせ

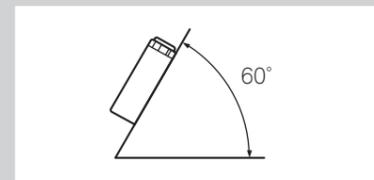
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



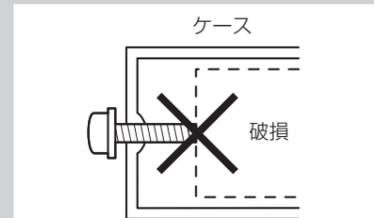
取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

●本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して60度以内の角度で取り付けてください。



●必ず本機および取付キットに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

●まず仮接続し、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けてください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

●車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

●ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

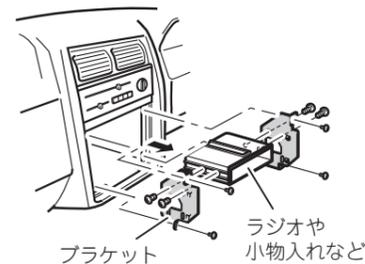
取付
2

本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



■日産車の場合

日産車ブラケット

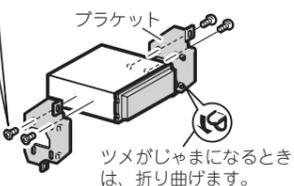


3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めて、元どおり車に取り付けます。



ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。



ご注意

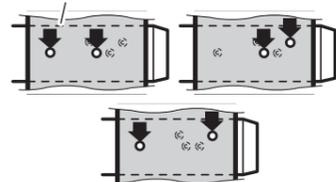
- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット

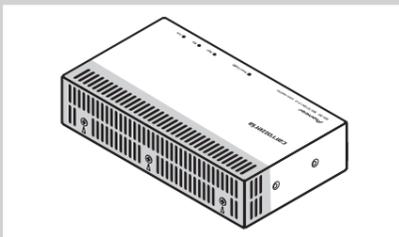


取付
3

アンプユニットを取り付ける

取り付け上のご注意

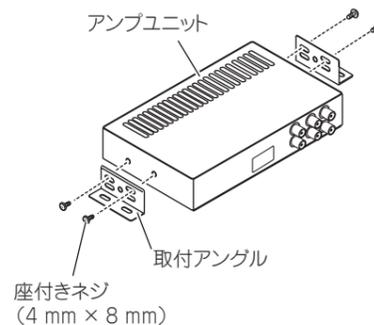
- 濡れた手でアンプユニットを触らないでください。感電するおそれがあります。また、アンプユニットが濡れているときも触らないでください。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
 - * ヒーターの吹き出し口の近く。
- アンプユニットの冷却効果を高めるため、アンプユニットの周辺は十分なスペースを空けて取り付けてください。また、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所への取り付けや、カーマットなどでアンプユニット全体を覆うなどの取り付けは絶対に行わないでください。
- ドア近くなど、雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- スペアータイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアータイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- アンプユニットを車室内に取り付ける場合は、しっかりと固定してください。外れるとケガや事故の原因となります。
- フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類 / タンク / 電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- アンプの放熱を妨げないために、アンプ背部の放熱スリット（下図の灰色部分）をふさがないように配置してください。



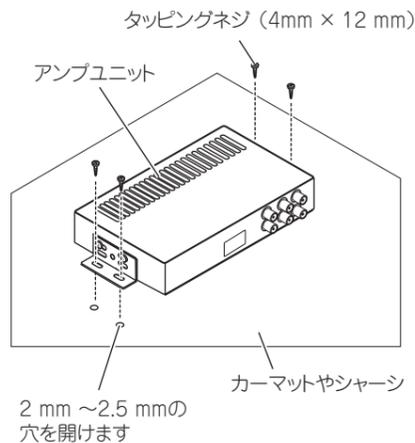
取付
4

フロントパネルを固定する

1 アンプユニットに取付アングルを取り付ける



2 アンプユニットを固定する



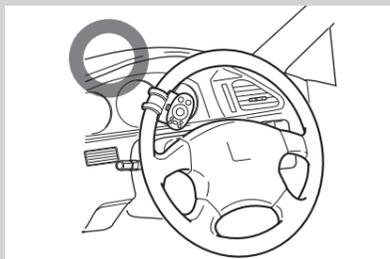
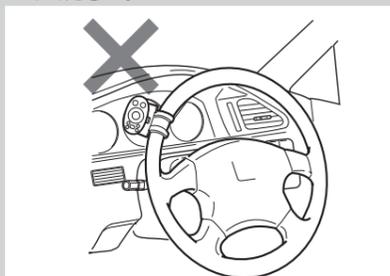
取付
5

ステアリングリモコンの取り付け

—— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください ——

取り付け上のご注意

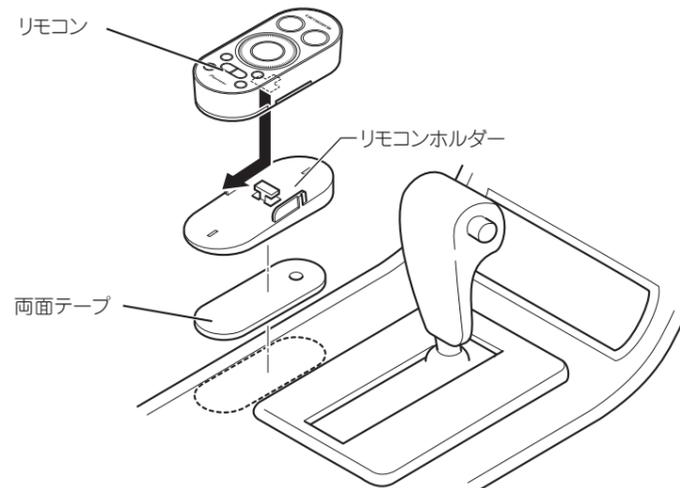
- リモコンは必ず固定しておいてください。固定しないで放置しておくと、リモコンが転がり、ブレーキペダルの下に入り込むと大変危険です。
- エアバッグなどの車の安全装置が働いたときに、その動作の妨げになる場所には絶対に取り付けしないでください。
- 車のメーター類の、視認の妨げになる場所には取り付けしないでください。
- 取り付ける位置や向きによっては、リモコンの信号がリモコン受光部にとどかない場合があります。固定する前に、取り付け位置で、動作確認を行ってください。
- ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの左または右側のリモコン受光部に近い方（右ハンドル車の場合はハンドルの左側、左ハンドル車の場合は右側）に取り付けてください。逆側に取り付けると、ステアリングリモコンの信号がリモコン受光部にとどかないため、動作しないことがあります。
- ハンドルに取り付けるときは、付属のベルトでしっかりと固定してください。しっかりと固定しないと、運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。
- ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの外側に取り付けしないでください。運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。必ずハンドルの内側に取り付けてください。



——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——

両面テープでコンソールに取り付ける場合

付属の両面テープを使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。



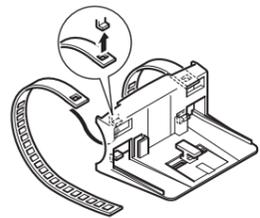
リモコンの取り外し方

リモコンをリモコンホルダーから取り外すときは、図のようにスライドさせてから取り外します。



ハンドルに取り付ける場合

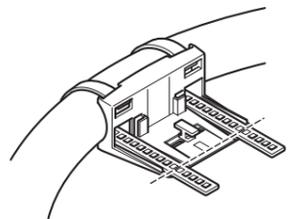
1 ホルダーにベルトを取り付ける



2 ハンドルにベルトを巻き付け、ホルダーを固定する



3 ベルトの余りを切り取る



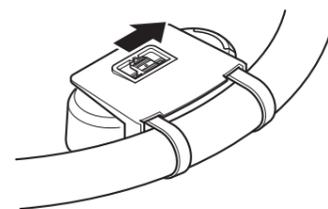
4 ステアリングリモコンを取り付ける



メモ

- 取り付け前に、ロックレバーがマークの位置にあることを確認してください。

5 裏側のロックレバーを“カチッ”と音がするまでスライドしてリモコンを固定する



メモ

- 上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車に取り付ける場合は左右逆に取り付けてください。

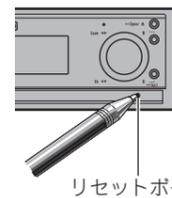
接続・取り付けが終わったら、次の操作をして、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する

(→取扱説明書)